

平成27年度
西日本ブロックワークショップ

子ども達のなりたい職業No.1を目指して！

産業廃棄物処理業経営塾OB会
成果発表会

平成28年2月23日

目次

1. 西日本ブロック紹介
2. はじめに
3. 現状について
4. 目的
5. 環境教育などの事例
6. 産業廃棄物業界との接点
7. 環境教育の実施
8. まとめ

1. 西日本ブロック紹介

企業数 50社
(会員数 84名)

株式会社京都環境保全公社
株式会社興徳クリーナー
株式会社県北衛生社
株式会社国中環境開発
株式会社山本清掃
株式会社塵芥センター
株式会社西日本アチューマツククリーン
株式会社倉敷環境
株式会社富士クリーン
株式会社布施興業
株式会社木下カンセー
近畿環境保全株式会社
甲陽興産株式会社
三光株式会社
三友プラントサービス株式会社
山陽美業株式会社
新日本開発株式会社
西播環境整備株式会社
中国特殊株式会社
田中石灰工業株式会社
東広商事株式会社
浜田化学株式会社
福岡金属興業株式会社
木村工業株式会社
有限会社平塚商事

アースサポート株式会社
エコシステム山陽株式会社
オオノ開発株式会社
コスモ・エージェンシー有限公司
ホームケルン株式会社
ユニクル株式会社
安田産業株式会社
株式会社Green prop
株式会社アース・コーポレーション
株式会社アクトリー
株式会社イポキン

株式会社ヴァイオス
株式会社エコパレット滋賀
株式会社エム・アール・シー
株式会社オガワエコノス
株式会社カンサイ
株式会社サンエム
株式会社ダイカン
株式会社パブリック
株式会社プランテック
株式会社まつえ環境の森
株式会社マルシン
株式会社横山サポートテック
株式会社吉田穂商店
株式会社吉本興業

2. はじめに (活動記録)

日 程		開 催 場 所	出席数
1回目	7月13日	(株)プランテック	12名
2回目	9月3日	TKP博多駅筑紫口会議室	11名
3回目	10月21日	(株)プランテック	7名
4回目	12月1日	(株)プランテック	12名
5回目	2月1日	香川県 小学校	7名



2. はじめに (過去の取組)

年 度	取 組 内 容
平成21年度	事前協議について（流入規制） 行政毎での指導の違い、是正について（施設許可に関する同意取得）
平成22年度	再委託の取扱いについて
平成23年度	資源有効利用に向けた中間処理業のあり方
平成24年度	業界地位向上に向けて ～子供達の楽しめるリサイクリングシステム～
平成25年度	WDSは友達だ
平成26年度	優良さんぱいナビ&コミュニケーション



過去からの取組・方向性は、他業界との共存をベースにした提案型である。

2. はじめに (議論内容)



- ・ 職業ランキングのトップ10に入りたい。
- ・ 子供達に夢をもたせたい。

- ・ キッザニアで、職業体験コーナーをもちたい。
- ・ 映画業界などと、連系が取れたらおもしろい。

- ・ 幸せを売れる仕事にしたい。
- ・ 自らでメリットをPRしたい。
- ・ 産廃男子を運用したら、PRになる。

- ・ 産業廃棄物処理業界の地位向上に繋がりたい。
- ・ 優良さんぱいナビを知ってもらいたい。
- ・ 廃棄物処理業者を知ってもらいたい。



子供たちに選んでもらえる職業にしたい！

- ・ 啓発活動の必要性
- ・ 環境教育の必要性
- ・ 知名度の向上
- ・ 優良事業者のアクション
- ・ 産廃業界と他業界の接点強化

3. 現状について (産業廃棄物処理業者の環境に関する活動・取組事例)

京都府 Y社 環境教育事例

講 義

「小さなコミュニティからできる小さなこと」
5Rの先にある参加型のプログラム
循環型社会の在り方

対 象

小学生



身近なことからはじめよう♪

まず学校で教わったことを実践しよう。
家庭で出来ることや学校内で出来ること、
地域のみなさまを誇ってできること。
身近なことから始めること、続けること、
広めることが大事なことです。及ぼす。
クラスに戻って、1人で出来ることと
みんなで取り組むことを考えてみよう。

講義資料例

兵庫県 K社 車両ラッピング事例

導入経緯

地域、地域の子も達に、「ゴミは汚い、臭い」という印象があり、近寄りがたいイメージを変えるため、また、将来このアニマルパッカー車に乗って仕事がしたいと思ってもらいたいため



アニマルパッカー車

3. 現状について (産業廃棄物処理業者の環境に関する活動・取組事例)

広島県 ○社 環境教育事例

活動事例

広島県府中市内の小学4年生の社会見学ルートに給食センター・クリーンセンターと共に毎年、○社廃棄物処理工場が見学されている。

○社では、ビン・缶の選別場、RPF製造工場などリサイクル施設を見学し、リサイクルの仕組みを知ってもらう。

異物の混入などの事例も伝え、分別の必要性も理解してもらっている。

また給食センターで排出される人参の皮など調理の過程で排出される残渣を受入れている、堆肥ヤードも見学してもらい、堆肥となっている工程も伝えている。

対 象
小学生

兵庫県 Y社 ボランティア活動事例

活動内容

「クリーンキャンペーン」 1ヶ月/回
事業所周辺地域のゴミ拾い活動

活動人数

社員全員



活動状況

4. 目的

環境学習の実施

身近に感じてもらう

環境問題の意識向上

産業廃棄物業界への興味

各企業の知識や活動を用いて
西日本ブロックで行動しよう！



産業廃棄物処理業の
強みを活かす！

- ・豊富な実経験

5. 環境教育などの事例



- ・ 学校教育、社会教育を通じて環境問題解決の拡充
- ・ 環境教育の制度、システム化
- ・ 学生に対しての指導マニュアル化
- ・ 環境教育の実施
- ・ 地域、組織に対しての制度の補助
- ・ 環境教育の斡旋
- ・ 環境教育プログラムの開発
- ・ 環境教育問題に関する研究調査
- ・ 教育者、指導者のための実践訓練

環境教育を通じて長期的な視点による環境問題解決の取組を実施している。

6. 産業廃棄物処理業界との接点

共通の課題認識による取組の実施

各団体・各企業・各行政

廃棄物処理業界

多種多様な取組方法

現場の声を反映した多種多様な取組

環境教育

様々な環境問題

リデュース
リサイクル
処理
リユース
不法投棄

【ごみ問題】

資源の枯渇
温暖化
省エネルギー

【エネルギー問題】

森林破壊
生物種の減少
人工化開発

【自然問題】

大気汚染
酸性雨
水質汚染
オゾンホール
土壌汚染

【汚染問題】

産業廃棄物処理業界と環境教育には接点がある。

7. 環境教育の実施

配布用

1. 講義担当者 産業廃棄物経営塾OB会 西日本ブロック
平成27年度リーダー 横山淳平 他6名
2. 講 義 日 平成28年2月1日（月曜日）

場 所 香川県小学校
3. 講義科目 環境学習
4. 受講対象者 4年生 55名
5. 講義内容 「身近なごみから考えよう！」

7. 環境教育の実施

「身近なごみから考えよう！」

配布用

●学習のねらい

学校で発生するごみと家庭から発生するごみを減らすためには、どのような工夫を実施すれば減らせるのか、ゲスト(廃棄物処理業者)を交えて共に考えることにより、より具体的に実践力を高めることができる。

●気をつけたこと

- ・小学4年生を対象とするため、和やかな雰囲気づくり。
- ・地域、自治体毎に分別方法、種類が違うため事前に調査を行い地元ルールに併せる。

8. まとめ

環境学習の実施

身近に感じてもらう

環境問題の意識向上

産業廃棄物業界への興味

業界の成長・進歩

子供たちに選んでもらえる職業のひとつ

経営塾OB会（思い・繋がり）

共に学ぶ（地域・文化）

啓発活動（環境問題の底上げ）

8. まとめ 「今後の思い」



優良
さんぱい
ナビ

《産業廃棄物処理業界》

【検索】



【環境教育】

【出前授業】



《教育関係機関など》

優良さんぱいナビを活用して、啓発活動の一環が実施できれば、多くの人達に産業廃棄物処理業界の強みを活かすことができると考えている。

- ・ 経営塾OB会内に環境教育分科会の起案？
- ・ (公財)産業廃棄物処理事業振興財団の中に出前環境授業部の創設？